

安倍政権NO! 官邸包囲

学生スピーチ

7/26
五旗

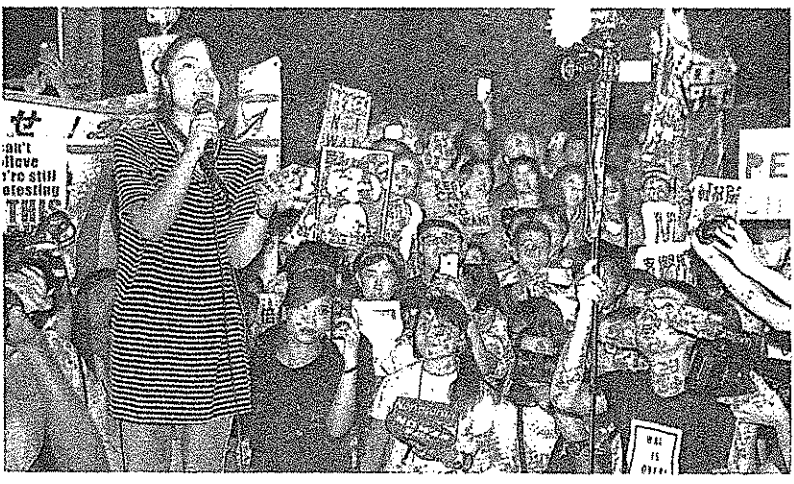
24日、7万人が国会周辺で抗議の声をあげた。安倍政権NO! 首相官邸包囲。参加者の大きな共感を呼んだ、学生(S.E.A.L.D)自由と民主主義のための学生緊急行動)のスピーチを紹介しす。

武力に頼る未来 私はいりません

芝田 万奈さん
(大学3年生)

今日は安倍首相さんに手紙を書いてきたので読ませていただきます。

安倍晋三さん。私はあなたに底知れない怒りと絶望を感じています。



スピーチする芝田万奈さん

先週、衆院安全保障特別委員会、安保法制が「ナタ」ともいえる形で強行採決されました。沖縄では、県民闘士を争わせ、新たな基地建設がすすめられています。鹿児島では、安全対策も説明も不十分なまま、川内原発を再稼働させようとしています。一方、東北には、仮設住宅暮らしを4年以上続けている人はまだたくさんいらっしゃいます。あなたはどの状況が「美しい国・日本」のあるべき姿だと思いますか。

後藤健二さんが殺害されたとき、私は日本も米国のように対テロのたまたかいを始めるんじゃないかと思つて、とても怖くなったのをいまでも覚えていてます。しかし、日本は米国と同じ道をたどってきてないし、これからもたどりません。

被爆国として、軍隊をまたどと繰り返さないで、私たちなりの道として、憲法を保持する国として、私たちが持っている未来を、和について真剣に考え、構築していく責任があります。

いつか私も、自分の子どもを産み、育てたいと願っています。だけど、いまの社会で子どもを育てられる自信がない。安倍さん。あなたに私のこの不安をめぐせますか。

自分の子どもが生まれたときに、真の平和を求め、世界に広げる。そんな日本であってほしいから、私はここにたつて、こうして声をあげています。

ベビーカーに乗っている赤ちゃんが私を見て、また歯が生えていない口を開いて笑ってくれる幸せを。仕送りしてくれたおばあちゃんに「ありがとう」って電話して伝える幸せを。好きな人に教えてもらった音楽を踊りの電車で聞く幸せを。私はこういふ小さな幸せを平和と呼ぶし、こういう毎日を守りたいんです。

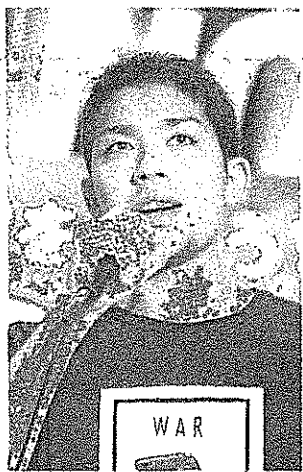
私は、これ以上、私の生きるこの国の未来をあなたにまかせられることはできません。この場から戻るべきの顔色が私に希望を与えてくれます。

安倍さん。あなたの手の中に、民主主義も、この国の未来もありません。ここにいて、私たちが一人ひとりで勝ち取りましょう。

2015年7月24日、私は安倍政権に退陣を求めます。(国会正門前で)

70年前に経験したことを二度と繰り返さないで、私たちが平和を、私は平和と呼びます。

政治を変えるため 言いつづけます



元山仁士郎さん
(大学4年生)

爆発しました。路上では脱原発のデモが頻発におこなわれていました。大学に入り、2013年に秘密保護法が強行採決されました。その際、過去の経験からデモを主催しようと思ひ、今もともに活動するSEALDsの仲間と出会いました。

正直に起つていくにもかわりません。ここが避けて進められていくように感じられ、さらに反対運動が、目に見えない結果が表れないことで、基地に閉じて変化を起こす力が自分にはないと感じられていました。

2011年、福島第一原発が

爆発しました。路上では脱原発のデモが頻発におこなわれていました。大学に入り、2013年に秘密保護法が強行採決されました。その際、過去の経験からデモを主催しようと思ひ、今もともに活動するSEALDsの仲間と出会いました。

正直に起つていくにもかわりません。ここが避けて進められていくように感じられ、さらに反対運動が、目に見えない結果が表れないことで、基地に閉じて変化を起こす力が自分にはないと感じられていました。

2011年、福島第一原発が

爆発しました。路上では脱原発のデモが頻発におこなわれていました。大学に入り、2013年に秘密保護法が強行採決されました。その際、過去の経験からデモを主催しようと思ひ、今もともに活動するSEALDsの仲間と出会いました。

正直に起つていくにもかわりません。ここが避けて進められていくように感じられ、さらに反対運動が、目に見えない結果が表れないことで、基地に閉じて変化を起こす力が自分にはないと感じられていました。

2011年、福島第一原発が

戦争を経験した祖父は、私に会うたびに「二度と戦争はしてはいけない」と話してくれました。大事なことを何度も、何度もいい続けてくれたことは、今の私の原動力となっています。

ここにはTPP(環太平洋連携協定)、ヘイトスピーチ(差別扇動行為)、秘密保護法、雇用、教育、農業、社会保障、原発、そして安保法制(戦争法案)などに関してさまざまな主張をもつ人たちが集まっています。

政権に対して、何か思うところがあるのであれば、いい続けたいとつづけていくことによって変えていくことができます。変えたいと思うのであれば、ずっとつづけていければならないのです。安倍政権に屈けましよう、日本中に、世界中にとどまらせます。

「安倍政権NO!」というのを！(白土公野音楽会)

思いや声が届かないだろうと感じています。